

今後の対策について（骨子案）

I 良好な実績を上げている地域の救急搬送体制の例示

II 短期目標として実現可能な対策の検討

1. 患者の病態と受入施設のマッチング

- ① 病態の分類（必要な対応・処置と緊急度）
- ② 施設の機能による分類
- ③ 地域のネットワークの促進

2. 情報の伝達及び効果的活用

- ① 救急医療機関の状況（病床数、人員）の伝達とその迅速化
- ② 情報の統合、センター化
- ③ 搬送先選定の迅速化（コーディネーターの配置）

3. 施設の機能充実と人員不足への対応

- ① 病床数の適正化（特に NICU の増床）
- ② 勤務環境の改善
- ③ パラメディカル、メディカルクラークの活用

4. その他